

岩見沢市

## 縁の相談コーナーだより

N.O. 329 2012. 11. 1 発行

岩見沢市志文町 794 番地

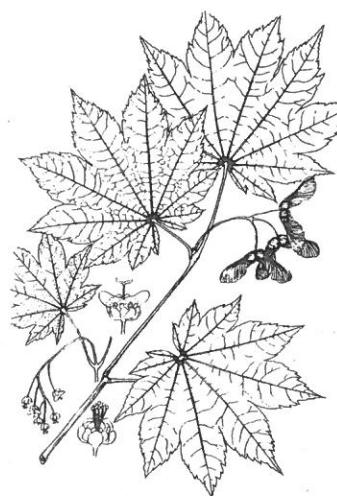
いわみざわ室内公園「色彩館」

### 身近な樹木 “ハウチワカエデ”（小倉山） ～北海道では花の最も美しいカエデの代表～

ハウチワカエデは、北半球に自生する 140 種のカエデ属の中で、北海道・本州の冷温帯山地に分布する代表的なカエデの種類で、その美しさからか、別名メイゲツカエデとも呼ばれます。カエデの仲間は、春のあざやかな新緑で姿を現し、そしてまた、晩秋には再び錦の衣をまとい、燃えるような紅葉となって私たちを楽しませてくれます。

日本人は、古来から秋に紅葉する樹々を「もみじ」と呼んできましたが、<sup>かえで</sup> <sup>もみじ</sup>楓は紅葉とほとんど同じ意味の言葉として使われるほど代表的なものとなっています。その中でも、ハウチワカエデは「小倉山時雨るる頃は朝な朝なきのふはうすき四方のもみじば」と三十六歌仙に詠まれている「小倉山」であり、もみじの代表選手でもあったようです。また、『増補地錦抄』の中に「小倉山、葉形切込み多く、十二キザミあるとして十二ヒトヘと号といへども数に多少ありてそれに限らず」とも記されており、十二单衣のように葉の切れ込みの多い、大きな葉のカエデであると見立てられております。モミジについては、万葉集の頃から現代まで、春の花とならべて秋の紅葉を歌いあげた歌がたいへん多いことは広く知られています。このことは、日本の紅葉が、散る、移ろう、寂しい、悲しい人生の無常の象徴ばかりではなく、春の花のように、秋に燃え輝やく錦の美しさが、人々の心を浮き立たせたものと思われます。このような感性が、今日も春の「お花見」と並んで、秋の「紅葉狩り」や観楓会などの行楽として今につながっているものと考えられます。

植物名の由来ですが、カエデの仲間は、葉の形がみなカエルの手に似ているところから「蛙手」と呼ばれ、これが転訛して「カエデ」となったといわれます。したがって、ハウチワカエデは、葉が团扇のよう<sup>うちわ</sup>に大きいカエデの意味と思われます。このことからか？ウチワカエデ、ハウチワモミジなどの地方名があり



Acer japonicum THUNB.  
ハウチワカエデ

ます。また、カエデの仲間では、花の最も美しい楓として知られアカバナ、アカバナウチワ、ハナノキなどの別名もあります。

ハウチワカエデの用途ですが、何といっても他のカエデ類と同じように観賞樹木の代表といえます。江戸時代の元禄年間には、カエデ類の園芸栽培の人気も高まり、多くの品種が生み出され、明治期に入ってからも続々と新品種が登場し、やがて海外にも渡るようになりました。なお、ハウチワカエデの材は白色で、やや淡赤色を帯びますが、堅韌で緻密です。鉋削すると光沢があることから、家具、建具の部材、器具材、玩具、彫刻などに用いられてきました。

秋の月 光ひかり  
さやけみもみぢ葉のおつる影さへ見えわたるかな 紀貫之



## 公園だより

### バラ園

今年の岩見沢は新年から大雪に悩まされ、さらに猛暑の夏となり、秋の残暑も殊更厳しい年で、一部地域では水害の被害にも見舞われてしまいました。バラ園でも、いくつかの被害が発生し、対応に追われております。バラ好きの皆さんも気をもんだ年だったことと思います。また、これから約1ヶ月は越冬の準備に忙しい日々が続きますね。冬囲い前の仮剪定と葉むしり、病害虫防除のための薬剤散布、積雪による枝折れと寒風被害からバラを守るため、結束や被覆作業などの仕事が続くことでしょう。バラ園では、これらの仕事と合わせ、来年度のバラサミットに向けて、リニューアルの工事が忙しく続けられています。

◆今月のバラ園からの一ロメモは、スタンダードのつくり方についてです。長く伸びた枝幹の先に、大中輪のみごとなバラの花を咲かせているのを見ることがあります。このように育てたバラをスタンダードづくりといいます。これは、よく伸びて太りやすいツクシイバラやノイバラの台木に、花つきのよい品種のバラを芽接ぎして、1年以上育てるとできます。台木の育て方ですが、ノイバラなどの実生を長くて太いツルが出るようにし（長いものを挿し木してもよい）、普通のスタンダードで長さ0.6～1.2mに、接ぎ木する部分の太さを直径7～8mmに育てます。接ぎ方は、高さをきめて、両面に「張り芽接ぎ」の方法で同じ高さに接ぎます。

室内公園色彩館では、リニューアルの工事を行っていますので、ご迷惑をお掛けしますが、今月は閉館です。

南国温室では、タイワンバナナの実が大きくなってきました。今月は無料開放しておりますので、ご自由に南国情緒を楽しんで下さい。

# 相談日記

**問** 実のなる樹木が好きで、ブルーンやリンゴ、豊後梅などの家庭果樹を植栽しています。2~3年前から果実がなりだしたのですが、実がたくさんなった次年は、さっぱり果実がつきません。また、実はたくさんなったのですが、完熟する前に実が落ちたりするものもありました。このような症状が現れる原因として、考えられることや対策、予防法などがあれば知りたいのですが？

**答** 実が落ちる原因ですが、実の色が変わっていたり、斑点などがついているときは、病気や害虫による被害におかされている心配があります。しかし、そのような変化がないのに落果する現象は、「生理落果」と呼ばれます。生理落果は、株の大きさや葉の量などに対して、実の量が多すぎる場合に起こります。樹木が株全体の養分の配分を調整するために、余分な実を落としたのです。樹木の成長には、枝を伸ばしたり葉を茂らせたりする栄養生長と、花を咲かせたり実をつけたりする生殖成長の2通りがあります。通常は栄養成長が優先されるため、生理落果が起こったと考えられます。また、肥料や水のやりすぎ、剪定を強くやりすぎた場合も、枝葉をどんどん茂らせようとして、栄養成長のための養分を確保しようとするため、この現象が起こります。このほか、ウメなどの実は寒さに弱いため、マッチ棒の先くらいの大きさになったころ、寒さに合うと落果することがあります。

実がたくさんなった翌年に果実のなりが悪いのは、花芽をつける養分があまり残っていないため、実があまりできないのです。しかし、さらに翌年には、前年の花や実が少なかった分、養分が残っているため、実は多くなります。このように、実が多くなる年と少ない年を交互に繰り返す現象を隔年結果といいます。

**治療と予防のポイント** 生理落果によって落ちる実は、受粉していない実や成長の悪い実です。樹木自体が調整しているので、ある程度の落果は仕方ありません。しかし、肥料や水のやりすぎが原因の時は、枝葉が成長しすぎないよう控えめにします。なお、剪定は強剪定を避け控えめとし、弱い剪定を繰り返すようにします。

養分は葉→花→実という順にまわっていくため、花が多すぎると実まで養分がまわらなくなります。多くつきすぎた花は切って養分をまわすようにすると実が充実します。

隔年結果を防ぐには、花がたくさん咲いた年

は、余分な蕾や花を摘み取る「摘蕾・摘花」

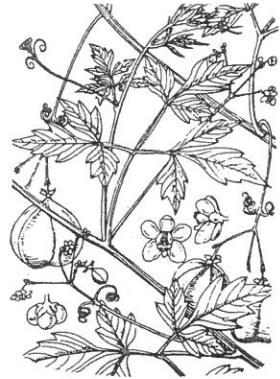
や余分な果実を切る「摘果」で調節します。



多くつきすぎた花や実を摘む

あんどう

## 行灯仕立ての鉢物として人気～フウセンカズラ 花言葉 魅力



風船状の実がいくつもぶら下がり、風に揺れる姿がユーモラスなフウセンカズラは、ムクロジ科フウセンカズラ属の一年草とされますが、もともとは多年生のつる性草本です。中南米や東南アジア原産で非耐寒性の植物なので、本道では室内で育てることが多いですが、夏は戸外で育てられます。通常は行灯仕立てのものが出回っていますが、購入に当たっては、つる折れや葉枯れのないものを選びましょう。名前の由来は、西洋の俗名 Balloon-vine に基づいてつけられたもので、ふくらんだ果実が空中にかかっているようすを風船に見立ててつけられたものです。性質は極めて強健であり、土は特に選びませんが、日当たりのよい場所で育てます。種子から育てる場合は、気温が 12 ℃以上の環境で播種しましょう。

伸び出すと生長が早く、多肥栽培が原因でつるが伸びすぎることがありますので、肥料は控えめにするとよいでしょう。

## 11～12月の園芸講座・行事案内

### 市民園芸講座の内容紹介

#### ♣ 冬の室内植物管理のポイント

日時 11月 4日（日） 13：00～15：00



講師 緑化相談員（樹木医） 泉 征三郎 定員 40人 参加料 無料

#### ♣ クリスマスのアレンジメント

日時 11月 25日（日） 13：00～15：00

講師 中央フラワー協会 伊藤とみ子さん 定員 40人 材料代 1500円

#### ♣ 冬の写真教室

日時 12月 2日（日） 10：00～12：00

講師 ナチュラリー写真家 若林 信男さん 定員 20人 参加料 無料

#### ♣ お正月のアレンジメント

日時 12月 9日（日） 13：00～15：00

講師 中央フラワー協会 伊藤とみ子さん 定員 40人 材料代 2000円

編集・発行 北海道グリーンランド（空知リゾートシティ株式会社）

お問い合わせは 室内公園「色彩館」緑の相談コーナー 25-6111まで